



柴田 徳太郎 (SHIBATA Tokutaro)

前東京大学大学院経済学研究科 教授
帝京大学 教授

東京大学経済学部卒業、
同大学院経済学研究科博士課程修了。
経済学博士。

西南学院大学経済学部専任講師、同大学経済学部助教授、東京大学経済学部助教授、同大学経済学部教授を経て、同大学院経済学研究科教授（1996-2017）。2017年4月より現職。

専門は、現代資本主義論、金融制度論、制度進化の経済学。主な研究テーマとして、（1）大恐慌と現代の金融危機を制度の進化という観点から解明する、（2）慣習に依存し慣習を創発する人間像、（3）「見えざる手」と「コンヴェンション」、などがある。

主な著書に、『大恐慌と現代資本主義』（東洋経済新報社）、『現代世界経済システム』（河村哲二と共編、東洋経済新報社）、『多元的経済社会の構想』（杉浦克己・丸山真人と共編、日本評論社）、『制度と組織の歴史分析』（編著、桜井書店）、『資本主義の暴走をいかに抑えるか』（筑摩書房）などがある。